

各セッションについて

1. 組織学、生理学、病理学 ANATOMY, PHYSIOLOGY AND HEALTH

このセッションは、ウミガメ類の形態と機能について、個体や個体群規模で健康に関わる原因と結果、そして、これらが外部環境とどのように関係しているか、といった研究テーマを取り上げます。このセッションのテーマとしては、解剖学、生理学、繁殖生物学、胚発生、体温調節、浸透圧調節、機能形態学、病気、獣医学的ケア、リハビリ、表在生物、寄生生物、健康調査、発生学、病理学などを対象とした研究や報告が含まれます。口頭発表は、革新的なアプローチ、手法、技術、解析を提示する明確な科学的方法を立証するような新規性の高い研究が優先的に選ばれます。

2. 水中における生物学（生態学、テレメトリー、摂餌、行動） IN-WATER BIOLOGY (ECOLOGY, TELEMETRY, FORAGING, BEHAVIOR)

ウミガメ類は、生活史を通して成長とともに移動し、餌場を利用しながら、生涯の大半を海洋で過ごします。このことから、本セッションでは、海洋環境におけるウミガメ類の生物学に関する幅広いトピックを取り上げます。このセッションで扱うテーマとして、幼体、亜成体、成体の海洋の生息域における調査、特に、成長期の生息域、餌場を対象とした調査を含めます。このセッションで重視するトピックとしては、海における目撃情報、調査、モニタリング、保全状況の評価、個体群、メタ個体群及び、サブ個体群の構造と動態、摂餌行動、食組成モニタリングや解析、生息域の健全度評価などです。このセッションで発表するものは、これらの様々な生息地でウミガメ類が担う役割を理解するために設計された調査や、生息域がウミガメ類の集まる場所としての健全度と持続可能性の条件が解明できるように設計された調査に焦点を当てます。成長期に過ごす海域に関する新しい調査や短期的な調査についても歓迎します。口頭発表は、科学的なアプローチの手法によって発展させた調査と新規性の高い内容のものが優先的に選ばれます。

3. 産卵生物学（生態、行動、繁殖成功） NESTING BIOLOGY (ECOLOGY, BEHAVIOR, AND REPRODUCTIVE SUCCESS)

このセッションは、産卵地における産卵メス、産卵巣、孵化幼体の研究を専門に設けています。このセッションでは、産卵個体群のサイズ、個体群パラメーターのモデリング、長期モニタリング、時間的変化、個体群変化予想、産卵生態、孵化・脱出成功率、孵化幼体産生、砂浜のモニタリング調査に関する新しい方法、技術、新しい産卵地情報などを取り上げます。口頭発表は、産卵メスと産卵する砂浜に関する研究と保全で特にインパクトの大きな結果を得た研究を優先的に選びます。10年未満の短期的な産卵活動に関する報告はポスターセッションで扱います。口頭発表は、明確な科学的方法アプローチを示す研究、そのアプローチ、方法、技

術および/または分析における新規性の高い研究が優先的に選ばれます。

4. 個体群生物学、個体群モニタリング（モデリング、人口構成、遺伝、産卵傾向、海洋環境での個体群トレンド） POPULATION BIOLOGY AND MONITORING (STATUS, MODELING, DEMOGRAPHY, GENETICS, NESTING TRENDS, IN-WATER TRENDS)

このセッションでは、ウミガメ類の個体群評価に関する新しいアプローチと結果を提示する幅広い研究を取り上げます。特に、人口統計（生存率、成長率、繁殖率）、個体群規模、個体群傾向、メタ個体群構造、個体群間の関係、集団遺伝学（Mixed Stock Analysis）、管理単位と個体群境界の定義などです。これらのテーマであれば、産卵地における研究も、餌場における研究でも歓迎です。ウミガメの個体群パラメーターや生存率を解明する、数理的モデルやシミュレーションモデルによる個体群生物学的解析手法による研究も歓迎します。口頭発表は、様々なツールを用いて個体群構造や人口統計、長期モニタリングプログラムを含む報告など、新規性が高く、統合的なアプローチを行なった研究が優先的に選ばれます。産卵個体群に対する短期的な産卵地調査や記載学的研究は、ポスター発表となります。

5. 漁業と脅威 FISHERIES AND THREATS

このセッションでは、ウミガメ類の重要な生息地を劣化させ、死亡率を高めるような問題、あるいは、個体群の衰退を招くような自然下の脅威と人為的脅威について、その影響の規模を問わずに扱います。このセッションのトピックには、混獲、漁具や漁法の特徴、直接的な捕獲、ストランディング（コールドスタンを含む）、産卵地や摂餌域を劣化させる沿岸開発の影響などが含まれます。特定の脅威の影響を評価するもの、脅威に対するウミガメ類の応答に関するもの、個体群に及ぼす脅威の影響について軽減を評価するようなものを含みます。口頭発表は、明確な科学的手法でアプローチした研究、革新的なアプローチ、方法、技術、解析などの手法を導入しているものが優先的に選ばれます。

6. 保全・管理・政策 CONSERVATION, MANAGEMENT AND POLICY

このセッションでは、ウミガメ類の管理、経済的及び法的側面と保全について、ますます増えつつある研究の現状を紹介します。このセッションでは、ウミガメとその生息地を保護する法的支援とその執行、政策とプログラム、ウミガメのモニタリングと保護に関する管理上の課題に取り組むものについて取り上げます。同様に、このセッションでは、法案や国際協定、その導入、その結果と影響に関する報告も含まれます。口頭発表は、新しいデータ

や議論を提示するもの：ウミガメ類の保全に関する新たなアプローチ、信頼できる評価手法の導入、方法論、政策に関するもの、保全において成功例をもたらした新しい管理法の導入について道筋を示すもの、などが優先的に選ばれます。

もし、今大会のメインテーマとなるこれから私たちが目指すべき保全のあり方に関連する発表があれば、9.ウミガメ保護のその先に(BEYOND PROTECTIO OF SEA TURTLE)に応募下さい。

7. 教育、アウトリーチ、意見 EDUCATION, OUTREACH AND ADVOCACY

このセッションでは、世界中の様々な地域におけるウミガメ類の保全を活性化するような、革新的な教育方法について扱います。発表では、「教育、アウトリーチ、意見」の点について、示されたデータの形式を明確に伝え、新規的アプローチ、方法、解析を強調してください。

8. 社会学、経済学及び文化的研究 SOCIAL, ECONOMIC AND CULTURAL STUDIES

このセッションは、調査研究プロジェクトに関する発表と、ウミガメ類とウミガメ類の生息地の保全に関する他の形の介入や方法に関するものを取り扱います。取り扱う対象としては、社会科学的研究調査、保全管理に関する文化的考え方についての議論、地元の人や他の専門家への情報と技術の移転に関するものなどが含まれます。このシンポジウムの重点的な研究課題を考慮し、口頭発表は、社会科学、自然科学、その他の広く認められた方法論、理論、アプローチを要旨に記述している研究が優先的に選ばれます。口頭発表は設定されている時間枠に限られるため、この条件を満たしていても、口頭発表として採用されるとは限りません。

もし、今大会のメインテーマとなるこれから私たちが目指すべき保全のあり方に関連する発表があれば、9.ウミガメ保護のその先に(BEYOND PROTECTIO OF SEA TURTLE)に応募下さい。

9. ウミガメ保護のその先に BEYOND PROTECTIO OF SEA TURTLE

過去数十年間、先人たちから引き継いできた様々な献身的な努力の結果、今日、私たちは、いくつかの種や地域個体群の劇的な回復を目の当たりにすることになりました。そして、それに伴い、また、新たな問題や議論も持ち上がってきています。我々は、日々、目の前のウミガメやその環境を守るといふ、使命感とやりがいと満ちた作業に熱心に取り組むあまりに、ついつい、保護活動の先にあるゴールを意識しなくなったり、見失ったりしがちです。（「Conservation」の旗を掲げる）私たちは、ウミガメ保護のその先に何を掲げるべきなのか？人は、回復してきたウミガメや自然とどうかかわっていくべきか。このセッションでは、「ウミガメ保護のその先に」という本シンポジウムのメインテーマに関連して、議論を深めるために示唆を与える事例や知恵を扱います。その中に

は、もともと地域に持続的に存在したであろうウミガメと人との多様な関係など社会学的、民俗学的な論文も含まれます。

10. 宇宙開発とウミガメ LINKING SPACE STUDY AND SEA TURTLE

衛星発信機を用いた研究が登場して既に久しく、今や一般的な手法となっています。アルゴシステムや GPS を用いて収集した位置情報や環境情報、潜水プロフィールなどは生態や生活史を明らかにすることに大いに貢献し、更なる発展も期待されています。一方で、衛星を打ち上げる宇宙事業そのものにもウミガメは関わっています。例えば、人工衛星が打ち上げられる米国ケープカナベラル空軍基地（Cape Canaveral Air Force Station）や日本の種子島の打ち上げ場は砂浜にあり、それぞれの地域でアカウミガメ個体群の 2 番目に大きな産卵地に接しています。宇宙開発とウミガメは遠くをつなげているだけではなく、根元でも繋がっているのです。ウミガメの研究を支え、ウミガメの産卵地に支えられる宇宙開発について、ウミガメやウミガメに関わる人々への恩恵と、打ち上げ場の立地する砂浜でのウミガメ保全への取組みと現状を整理し、宇宙開発と自然保護の今後を展望するために開催するのがこの特別セッションです。衛星技術の活用により進展した生態学的研究や保全、産卵地に立地する宇宙関連施設で実施している保全策などが募集対象となります

。

※この特別セッションは三菱重工業による支援を受けています。